

ダイワ・ロシア株ファンド

運用報告書(全体版) 第28期

(決算日 2022年 2月21日)

(作成対象期間 2021年 8月21日～2022年 2月21日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、ロシアの株式に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式		
信託期間	無期限（設定日：2008年 2月26日）		
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資 対 象	ベビーファンド	ダイワ・ロシア株マザーファンドの受益証券	
	ダイワ・ロシア株マザーファンド	ロシアの金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。）ならびにロシアの企業のDR（預託証券）	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率		無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率		
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

最近5期の運用実績

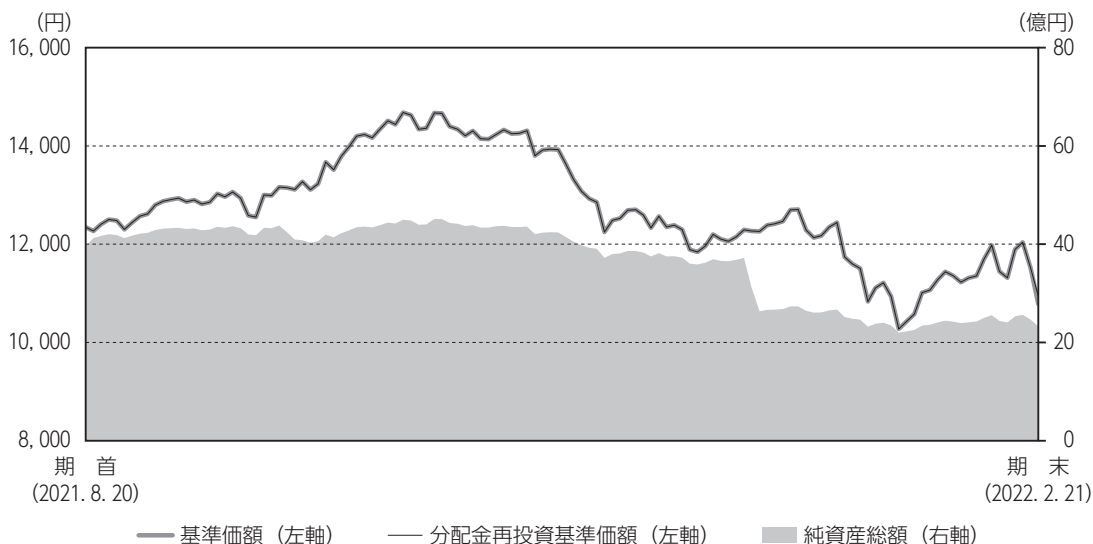
決 算 期	基 準 価 額			M S C I ロシア指数 (配当込み、円換算)		株 式 組入比率	株 式 先物比率	純資産 総 額
	(分配落)	税込み 分配金	期 中 騰落率	(参考指数)	期 中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
24期末 (2020年 2 月20日)	12, 427	600	25. 8	15, 377	28. 9	92. 5	—	3, 538
25期末 (2020年 8 月20日)	11, 097	0	△ 10. 7	12, 401	△ 19. 3	86. 9	—	3, 678
26期末 (2021年 2 月22日)	11, 802	190	8. 1	13, 647	10. 0	92. 6	—	4, 062
27期末 (2021年 8 月20日)	12, 346	1, 200	14. 8	16, 466	20. 7	93. 7	—	3, 958
28期末 (2022年 2 月21日)	10, 784	160	△ 11. 4	15, 156	△ 8. 0	87. 3	—	2, 327

- (注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
- (注 2) M S C I ロシア指数 (配当込み、円換算) は、M S C I Inc. の承諾を得て、M S C I ロシア指数 (配当込み、米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。M S C I ロシア指数 (配当込み、米ドルベース) は、M S C I Inc. が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はM S C I Inc. に帰属します。またM S C I Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。参考指数を「M S C I ロシア10/40指数 (配当込み、円換算)」から「M S C I ロシア指数 (配当込み、円換算)」に変更しました。
- (注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注 4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
- (注 5) 株式および株式先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
- (注 6) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期 首：12,346円

期 末：10,784円（分配金160円）

騰落率：△11.4%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

「ダイワ・ロシア株マザーファンド」を通じてロシアの株式に投資した結果、ロシア株式市況が軟調に推移したことやロシア・ルーブルが対円で下落（円高）したことなどを受けて、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ・ロシア株ファンド

年 月 日	基 準 価 額		MSCIロシア指数 (配当込み、円換算)		株 式 組入比率	株 式 先物比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首) 2021年 8 月20日	円 12,346	% —	16,466	% —	% 93.7	% —
8 月末	12,572	1.8	16,862	2.4	90.0	—
9 月末	13,115	6.2	18,126	10.1	90.6	—
10月末	14,338	16.1	19,795	20.2	91.0	—
11月末	12,485	1.1	17,225	4.6	93.3	—
12月末	12,467	1.0	17,087	3.8	93.0	—
2022年 1 月末	11,067	△ 10.4	15,412	△ 6.4	93.2	—
(期末) 2022年 2 月21日	10,944	△ 11.4	15,156	△ 8.0	87.3	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2021. 8. 21 ~ 2022. 2. 21)

ロシア株式市況（現地通貨建て）ロシア株式市場は下落しました。

ロシア株式市況は、当作成期首から2021年10月にかけて、原油価格の上昇などを背景に上昇しました。その後、新型コロナウイルスのオミクロン型変異株への懸念や、ウクライナ国境付近へのロシア軍派遣、そしてこの動きをめぐって米国を中心とする西側諸国との対立が深まったことなどを背景に下落し、当作成期を通しては下落となりました。

為替相場ロシア・ルーブルは対円で下落しました。

ロシア・ルーブルは、当作成期首から2021年10月にかけて、原油価格の上昇を背景に、日本円や米ドルに対して上昇しました。その後、新型コロナウイルスのオミクロン型変異株への懸念に加え、ウクライナをめぐるロシアと西側諸国との軍事的対立が深まり、経済制裁の懸念が高まったことから下落に転じ、当作成期を通しては下落となりました。

前作成期末における「今後の運用方針」**当ファンド**

「ダイワ・ロシア株マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

ダイワ・ロシア株マザーファンド

当ファンドは、豊富な天然資源の強みを背景に、国内需要の拡大など産業構造の変化が進むロシア経済において、成長が期待される企業に投資することにより、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。配当政策の改善や割安な株価水準、キャッシュフローの有効活用などが見込まれるエネルギー関連銘柄や金融関連銘柄などに注目しています。株式組入比率については、原油価格、世界経済、政治、金融市場の動向などをにらみながら、機動的に対応していきます。

外貨建資産の運用にあたっては、デカ・インベストメント社に運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行います。

ポートフォリオについて

(2021. 8. 21 ~ 2022. 2. 21)

■当ファンド

「ダイワ・ロシア株マザーファンド」の受益証券へ投資しました。

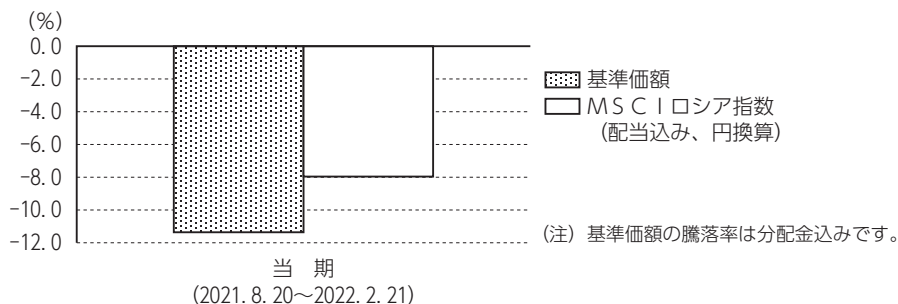
■ダイワ・ロシア株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、デカ・インベストメント社に運用の指図にかかる権限を委託しております。株式組入比率は、市場環境などに応じて機動的に変更しましたが、85%程度以上を維持しました。業種では、エネルギー、素材、金融セクターなどを高位としました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2021年8月21日 ～2022年2月21日	
当期分配金（税込み）	（円）	160
対基準価額比率	（％）	1.46
当期の収益	（円）	160
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	4,535

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 169.19円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00
(c) 収益調整金	2,605.71
(d) 分配準備積立金	1,921.07
(e) 当期分配対象額（a + b + c + d）	4,695.98
(f) 分配金	160.00
(g) 翌期繰越分配対象額（e - f）	4,535.98

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ・ロシア株マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

■ダイワ・ロシア株マザーファンド

ウクライナをめぐる軍事的衝突や欧米諸国による経済制裁など、ロシアおよびその周辺地域では地政学リスクが高まっており、ロシアの金融資本市場についても不透明さが増しております。そのような環境の中でも、当ファンドは、豊富な天然資源を持ち、産業構造の変化が進むロシア経済において、成長が期待される企業に投資することにより、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。株式組入比率については、原油価格や世界経済、ロシア国内外の政治の動向などをにらみながら、機動的に対応してまいります。

外貨建資産の運用にあたっては、デカ・インベストメント社に運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行います。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2021. 8. 21～2022. 2. 21)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	119円	0. 937%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は12, 735円です。
(投 信 会 社)	(57)	(0. 446)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(57)	(0. 446)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(6)	(0. 045)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	17	0. 136	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(17)	(0. 136)	
有価証券取引税	0	0. 000	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0. 000)	
そ の 他 費 用	12	0. 094	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(9)	(0. 068)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(3)	(0. 023)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	149	1. 167	

(注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

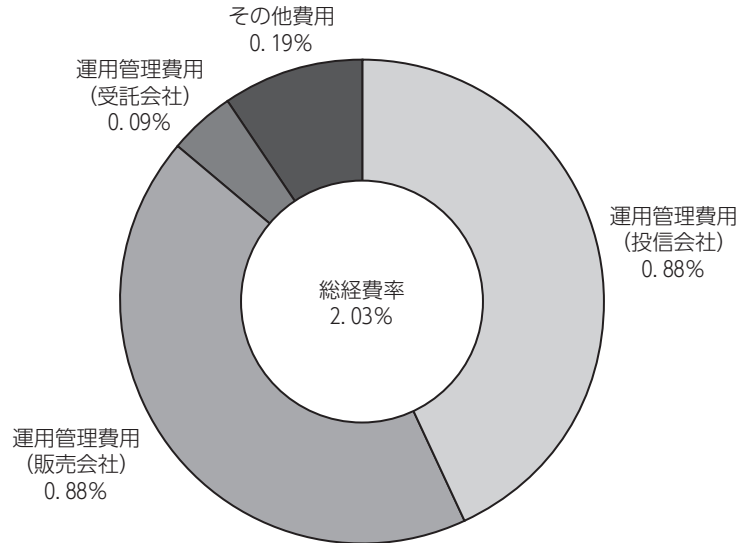
(注 3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.03%です。



- (注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2021年 8月21日から2022年 2月21日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・ロシア株マザーファンド	184,693	348,000	869,349	1,647,000

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2021年 8月21日から2022年 2月21日まで)

項 目	当 期
	ダイワ・ロシア株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	7,681,256千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	3,293,584千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	2.33

(注 1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注 2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・ロシア株マザーファンド	2,077,574	1,392,918	2,318,095

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2022年 2月21日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ・ロシア株マザーファンド	2,318,095	96.5
コール・ローン等、その他	84,558	3.5
投資信託財産総額	2,402,653	100.0

(注 1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注 2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、2月21日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝115.06円、1イギリス・ポンド＝156.56円です。

(注 3) ダイワ・ロシア株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(2,248,414千円)の投資信託財産総額(2,389,040千円)に対する比率は、94.1%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年 2月21日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	2,402,653,980円
コール・ローン等	13,558,915
ダイワ・ロシア株マザーファンド (評価額)	2,318,095,065
未収入金	71,000,000
(B) 負債	74,831,213
未払収益分配金	34,536,204
未払解約金	6,108,018
未払信託報酬	34,085,641
その他未払費用	101,350
(C) 純資産総額 (A－B)	2,327,822,767
元本	2,158,512,772
次期繰越損益金	169,309,995
(D) 受益権総口数	2,158,512,772口
1万口当り基準価額 (C／D)	10,784円

* 期首における元本額は3,206,098,253円、当作成期間中における追加設定元本額は336,950,224円、同解約元本額は1,384,535,705円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,784円です。

■損益の状況

当期 自 2021年 8月21日 至 2022年 2月21日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 4,066円
受取利息	2,036
支払利息	△ 6,102
(B) 有価証券売買損益	△ 269,709,208
売買益	47,362,922
売買損	△ 317,072,130
(C) 信託報酬等	△ 34,186,991
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 303,900,265
(E) 前期繰越損益金	414,667,486
(F) 追加信託差損益金	93,078,978
(配当等相当額)	(562,447,487)
(売買損益相当額)	(△ 469,368,509)
(G) 合計 (D + E + F)	203,846,199
(H) 収益分配金	△ 34,536,204
次期繰越損益金 (G + H)	169,309,995
追加信託差損益金	93,078,978
(配当等相当額)	(562,447,487)
(売買損益相当額)	(△ 469,368,509)
分配準備積立金	416,651,663
繰越損益金	△ 340,420,646

- (注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。
- (注4) 投資信託財産（親投資信託）の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：7,317,736円（未監査）

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	36,520,381円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	562,447,487
(d) 分配準備積立金	414,667,486
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	1,013,635,354
(f) 分配金	34,536,204
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	979,099,150
(h) 受益権総口数	2,158,512,772口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金 (税 込 み)	160円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。 ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。 ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。 ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
--

ダイワ・ロシア株マザーファンド

運用報告書 第28期（決算日 2022年2月21日）

（作成対象期間 2021年8月21日～2022年2月21日）

ダイワ・ロシア株マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

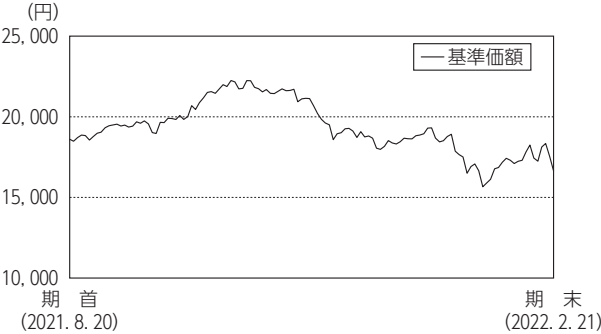
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	ロシアの金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。）ならびにロシアの企業のDR（預託証券）
株式組入制限	無制限

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		MSCIロシア指数 (配当込み、円換算)		株 式 組入比率	株 式 先物比率
	円	騰落率 %	(参考指数)	騰落率 %		
(期首) 2021年 8 月20日	18,604	—	19,079	—	95.9	—
8 月末	18,976	2.0	19,538	2.4	91.2	—
9 月末	19,837	6.6	21,003	10.1	91.5	—
10 月末	21,736	16.8	22,936	20.2	91.7	—
11 月末	18,943	1.8	19,958	4.6	93.8	—
12 月末	18,943	1.8	19,799	3.8	92.4	—
2022年 1 月末	16,859	△ 9.4	17,857	△ 6.4	92.3	—
(期末) 2022年 2 月21日	16,642	△ 10.5	17,561	△ 8.0	87.7	—

- (注1) 騰落率は期首比。
- (注2) MSCIロシア指数(配当込み、円換算)は、MSCI Inc. の承諾を得て、MSCIロシア指数(配当込み、米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCIロシア指数(配当込み、米ドルベース)は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。参考指数を「MSCIロシア10/40指数(配当込み、円換算)」から「MSCIロシア指数(配当込み、円換算)」に変更しました。
- (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
- (注5) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：18,604円 期末：16,642円 騰落率：△10.5%

【基準価額の主な変動要因】

当作成期の基準価額は、ロシア株式市況が軟調に推移したことやロシア・ルーブルが対円で下落(円高)したことなどを受けて、下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○ロシア株式市況(現地通貨建て)

ロシア株式市場は下落しました。

ロシア株式市況は、当作成期首から2021年10月にかけて、原油価格の上昇などを背景に上昇しました。その後、新型コロナウイルスのオミクロン型変異株への懸念や、ウクライナ国境付近へのロシア軍派遣、そしてこの動きをめぐって米国を中心とする西側諸国との対立が深まったことなどを背景に下落し、当作成期を通しては下落となりました。

○為替相場

ロシア・ルーブルは対円で下落しました。

ロシア・ルーブルは、当作成期首から2021年10月にかけて、原油価格の上昇を背景に、日本円や米ドルに対して上昇しました。その後、新型コロナウイルスのオミクロン型変異株への懸念に加え、ウクライナをめぐるロシアと西側諸国との軍事的対立が深まり、経済制裁の懸念が高まったことから下落に転じ、当作成期を通しては下落となりました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

当ファンドは、豊富な天然資源の強みを背景に、国内需要の拡大など産業構造の変化が進むロシア経済において、成長が期待される企業に投資することにより、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。配当政策の改善や割安な株価水準、キャッシュフローの有効活用などが見込まれるエネルギー関連銘柄や金融関連銘柄などに注目しています。株式組入比率については、原油価格、世界経済、政治、金融市場の動向などをにらみながら、機動的に対応していきます。

外貨建資産の運用にあたっては、デカ・インベストメント社に運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行います。

◆ポートフォリオについて

外貨建資産の運用にあたっては、デカ・インベストメント社に運用の指図にかかる権限を委託しております。株式組入比率は、市場環境などに応じて機動的に変更しましたが、85%程度以上を維持しました。業種では、エネルギー、素材、金融セクターなどを高位としました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは、運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

ウクライナをめぐる軍事的衝突や欧米諸国による経済制裁など、ロシアおよびその周辺地域では地政学リスクが高まっており、ロシアの金融資本市場についても不透明さが増しております。そのような環境の中でも、当ファンドは、豊富な天然資源を持ち、産業構造の変化が進むロシア経済において、成長が期待される企業に投資することにより、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。株式組入比率については、原油価格や世界経済、ロシア国内外の政治の動向などをにらみながら、機動的に対応してまいります。

外貨建資産の運用にあたっては、デカ・インベストメント社に運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行います。

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式)	26円 (26)
有価証券取引税 (株式)	0 (0)
その他費用 (保管費用) (その他)	18 (13) (5)
合 計	44

(注 1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。
(注 2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

株 式					
(2021年 8月21日から2022年 2月21日まで)					
		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 61,829.5 ()	千アメリカ・ドル 26,618 ()	百株 85,124.5	千アメリカ・ドル 38,416
	イギリス	百株 650 ()	千イギリス・ポンド 879 ()	百株 600	千イギリス・ポンド 760

(注 1) 金額は受渡し代金。
(注 2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。
(注 3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

株 式							
(2021年 8月21日から2022年 2月21日まで)							
当 期				期			
買 付				売 付			
銘 柄	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
YANDEX NV-A (オランダ)	千株 48	千円 374,914	円 7,810	ROSNEFT OIL CO PJSC (ロシア)	千株 465	千円 427,045	円 918
ROSNEFT OIL CO PJSC (ロシア)	265	261,068	985	YANDEX NV-A (オランダ)	47.5	351,196	7,393
TATNEFT PJSC (ロシア)	325	252,626	777	SBERBANK OF RUSSIA PJSC (ロシア)	775	332,960	429
SBERBANK OF RUSSIA PJSC (ロシア)	625	247,405	395	NOVATEK PJSC-SPONS GDR REG S (ロシア)	12.75	327,010	25,647
MOBILE TELESYSTEMS-SP ADR (ロシア)	225	216,580	962	TATNEFT PJSC (ロシア)	355	264,010	743
TCS GROUP HOLDING-GDR REG S (キプロス)	22.5	197,714	8,787	TCS GROUP HOLDING-GDR REG S (キプロス)	24	218,116	9,088
SURGUTNEFTGAS PJSC (ロシア)	2,800	195,862	69	POLYUS PJSC (ロシア)	11	213,419	19,401
OZON HOLDINGS PLC - ADR (キプロス)	48.2	161,586	3,352	MMC NORILSK NICKEL PJSC (ロシア)	6	204,483	34,080
NOVATEK PJSC-SPONS GDR REG S (ロシア)	5.25	143,593	27,351	OZON HOLDINGS PLC - ADR (キプロス)	50.7	196,515	3,876
POLYUS PJSC (ロシア)	7	143,491	20,498	GAZPROM PJSC-SPON ADR (ロシア)	155	167,944	1,083

(注 1) 金額は受渡し代金。
(注 2) 金額の単位未満は切捨て。

ダイワ・ロシア株マザーファンド

■組入資産明細表 外国株式

銘柄		期首	当	期末		業種等
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(ロシア)		百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
YANDEX NV-A		275	280	1,253	144,170	コミュニケーション・サービス
MOBILE TELESYSTEMS-SP ADR		—	800	573	65,998	コミュニケーション・サービス
OZON HOLDINGS PLC - ADR		125	100	189	21,803	一般消費財・サービス
VTB BANK JSC -GDR-REG S		3,500	2,000	216	24,898	金融
MAGNITOGORS-SPON GDR REGS		—	250	255	29,340	素材
MAGNIT PJSC-SPON GDR REGS		750	600	866	99,687	生活必需品
X 5 RETAIL GROUP NV-REGS GDR		150	230	529	60,919	生活必需品
TCS GROUP HOLDING-GDR REG S		200	185	1,143	131,548	金融
VK COMPANY REG S GDR LTD		250	200	144	16,649	コミュニケーション・サービス
NOVATEK PJSC-SPONS GDR REG S		125	50	966	111,176	エネルギー
LUKOIL PJSC-SPON ADR		50	—	—	—	エネルギー
GAZPROM PJSC-SPON ADR		1,500	150	121	13,924	エネルギー
PHOSAGRO PJSC-GDR REG S		350	250	558	64,203	素材
UNITED CO RUSAL INTERNATIONAL		—	5,550	561	64,582	素材
TATNEFT PJSC - PREF		258.09	258.09	143	16,495	エネルギー
NOVOLIPETSK STEEL PJSC		3,900	1,800	524	60,402	素材
SURGUTNEFTEGAS-PREFERENCE		17,000	—	—	—	エネルギー
ALROSA PJSC		6,850	5,050	669	77,070	素材
MOSCOW EXCHANGE MICEX-RTS PJ		5,500	—	—	—	金融
SBERBANK OF RUSSIA PJSC		6,500	5,000	1,590	183,014	金融
SEVERSTAL PJSC		540	—	—	—	素材
POLYUS PJSC		105	65	1,096	126,125	素材
TATNEFT PJSC		1,500	1,200	724	83,401	エネルギー
SURGUTNEFTEGAS PJSC		—	5,000	216	24,865	エネルギー
MMC NORILSK NICKEL PJSC		85	35	960	110,566	素材
GAZPROM PJSC		5,000	4,250	1,687	194,178	エネルギー
ROSNEFT OIL CO PJSC		2,000	—	—	—	エネルギー
LUKOIL PJSC		300	215	1,798	206,981	エネルギー
アメリカ・ドル通貨計	株数、金額	56,813.09	33,518.09	16,791	1,932,007	
	銘柄数＜比率＞	24銘柄	23銘柄		<83.3%>	
(ロシア)		百株	百株	千イギリス・ポンド	千円	
POLYMETAL INTERNATIONAL PLC		500	550	643	100,703	素材
イギリス・ポンド通貨計	株数、金額	500	550	643	100,703	
	銘柄数＜比率＞	1銘柄	1銘柄		<4.3%>	
ファンド合計	株数、金額	57,313.09	34,068.09	—	2,032,710	
	銘柄数＜比率＞	25銘柄	24銘柄		<87.7%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2022年2月21日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	2,032,710	85.1
コール・ローン等、その他	356,329	14.9
投資信託財産総額	2,389,040	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、2月21日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝115.06円、1イギリス・ポンド＝156.56円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(2,248,414千円)の投資信託財産総額(2,389,040千円)に対する比率は、94.1%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年2月21日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	2,389,040,037円
コール・ローン等	320,615,332
株式(評価額)	2,032,710,611
未収入金	35,714,094
(B) 負債	71,000,000
未払解約金	71,000,000
(C) 純資産総額(A－B)	2,318,040,037
元本	1,392,918,559
次期繰越損益金	925,121,478
(D) 受益権総口数	1,392,918,559口
1万口当り基準価額(C／D)	16,642円

* 期首における元本額は2,077,574,679円、当作成期間中における追加設定元本額は184,693,656円、同解約元本額は869,349,776円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：
ダイワ・ロシア株ファンド 1,392,918,559円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は16,642円です。

■損益の状況

当期 自 2021年8月21日 至 2022年2月21日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	89,999,625円
受取配当金	89,772,294
受取利息	19
その他収益金	239,041
支払利息	△ 11,729
(B) 有価証券売買損益	△ 334,785,405
売買益	306,739,593
売買損	△ 641,524,998
(C) その他費用	△ 3,299,204
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 248,084,984
(E) 前期繰越損益金	1,787,550,342
(F) 解約差損益金	△ 777,650,224
(G) 追加信託差損益金	163,306,344
(H) 合計(D+E+F+G)	925,121,478
次期繰越損益金(H)	925,121,478

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。